

黒羽地区市政懇談会

日 時：平成30年7月11日（水）午前9時30分
会 場：黒羽・川西地区公民館



懇談テーマⅠ 地方創生・行財政改革に関するご意見
地域おこし協力隊の活動状況と今後の市の方針について

《ご回答》

平成27年6月から隊員を任用し、これまで延べ25名を任用してまいりました。現在は12名の隊員が、新規就農、文化・芸術による地域振興、中心市街地の活性化など幅広い分野に渡って、市内全域で活動をしております。

地域に貢献が出来る、かつ任用後の活動のビジョンを持った隊員を募集してまいります。隊員が任期満了後も定住・定着を図り、地域の活性化に寄与することも重要であり、市では起業支援補助金を用意し、隊員自らが起業をすることにより本市に定住・定着できるように取り組んでおります。平成30年度中に3年間の任期が満了する7名の隊員は、全員が本市に定住する意向を持っておりますので、引き続き地域に定着し、将来その地域を担う人材として活躍していただきたいと考えております。

懇談テーマⅡ 安全・安心な地域社会に関するご意見

前田地内の国道461号線と市道前田4号線が交流する丁字路周辺の側溝の見直しと、学校給食センターの雨水処理対策について

《ご回答》

市道前田4号線には30cm×30cm断面のU型側溝及び、農業用水路を兼ねた50cm×50cm断面のU型側溝が整備されていますが、隣接地の宅地化が進み、最近のゲリラ豪雨などでは一気に雨水がT字路に集中し、溢水するものと考えております。側溝の放流先が限られているため見直しは困難となっています。

学校給食センターに雨水処理施設がなく、そのまま側溝に流れるようになっているため、

敷地内処理など対策を検討してまいります。

懇談テーマⅢ 公共施設の利活用に関するご意見

廃校から 5 年が経過した旧片田小学校の利活用について、今までの経緯と民活を含めた今後の市の考え方をお伺いしたい。

《ご回答》

平成 25 年度に文部科学省が実施している「みんなの廃校プロジェクト」に登録し、公募を行い、平成 26 年度及び平成 28 年度も公募を行いましたが、いずれも応募はありませんでした。公募以外でも数件問合せがありましたが、大規模な改修が必要になる等の理由で、利活用には結びついておりません。

今年度は、どのような条件を提示すれば事業者が参入するのを探るため、サウンディング調査の実施を予定しております。直接事業者と対話することにより、条件等を検討し公募につなげてまいります。

懇談会でいただいたご意見

○全国平均からみた市債の健全性について

《ご回答》 「財政健全化法」のなかの健全化判断比率、たとえば経常収支比率あるいは将来負担比率というような指数が示され、そのなかでは健全であるという判断がされています。

○小学校の統合計画はどのように進むのかお聞きしたい。

《ご回答》 須賀川小は英語特区として、両郷中央小は学力向上特区として存続するというので、現在のところ統合の考えはありません。

○古いゴミ袋の使用について

《ご回答》 6 年前から、現在の袋に変更いたしました。その後、何度か猶予期間を設けていましたが、今年度から新しい袋に統一するというので、9 月まで 10 枚単位での新しい袋への交換を行ってまいりました。

○消防団の合併について

《ご回答》 条例上、定員は 1,052 名となっており、今年 4 月は 958 名で定員まではいっていない現状ですが、合併ということは考えておりません。市職員の採用試験の時には入団の意思の確認をしたり、また機能別消防団制度や「サポート事業」など様々な方法を取って定員を維持できるように工夫してい

るところです。ただ、将来的には、いつまでも続くとは言えませんので、地域から意見を出していただけると、様々な検討ができると思います。

○堤防の劣化について

《ご回答》 道路維持課までご連絡いただければ、市から県に繋がりますので、情報提供をお願いいたします。

○統廃合に関するガイドラインの作成について

《ご回答》 「小中学校再編整備に関する答申書」が出され、これに基づき行っております。統廃合に関しては、本来は児童数の適正化が一番良いのですが、「学校がなくなると地域が減じる」という考えがあり、答申書通りには進んでいないのが現実です。

○黒羽刑務所の跡地の有効活用について

《ご回答》 県知事からも副知事を通じて、情報提供と全面協力をしていただけると言われております。建物を解体していただいて更地になった段階で、市としては企業誘致できるような工場用地になればと考えております。